

授業科目	インターンシップ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	角谷 尚久						
授業概要	インターンシップ（就労体験）に向けの基本的知識、スキル、マナーを学ぶ。特に、キャリア自律が確立できることを目指す。 *なお、当該科目は実務系科目である。						
授業形態	対面授業			授業方法			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 企業等の社会的役割、社会の成り立ち、働くことの意味、働くことに伴う（法的）責任、チームワークの重要性などを理解できる。 2. 自分の職業意識を醸成したり高めたりすることができる。 3. ビジネス社会で使われる実践的能力を身に付け向上させることができる。 4. 将来の進路につながりうる実習先の企業等の活動内容、属する産業の動向を理解できる。
理想的レベル	1. 働く意義を学ぶ。 2. 就職状況、プロセス、必要な知識やスキルを学び、把握する。 3. 自己分析を行い、興味・関心のある業界、職種、企業を選定できる。 4. 業界・企業研究ができる。 5. エントリーシート作成や履歴書作成ができる。 6. 社会人として社会貢献ができるようになる心構えと準備と計画を行うことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	70%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	30%	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T031902J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

授業概要の把握	4
---------	---

授業計画

第1回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明
第2回	業界研究・企業研究 ・企業研究のやり方 ・企業研究シート作成
第3回	業界研究・企業研究 ・企業研究シート作成－続き－

第4回	自己分析シート作成 ・就活における自己分析とは ・分析に基づくシートの作成
第5回	インターンシップ先の研究 ・インターンシップ先の企業分析
第6回	インターンシップの心得 ・法令遵守と守秘義務等について ・実習報告書について
第7回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第8回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第9回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第10回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第11回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第12回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第13回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第14回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
第15回	7回～15回までは企業等での実習授業となる
テキスト	指定なし：レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	第1回授業ガイダンスで指示する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	希望する業界の企業情報などの把握。 ※授業計画は、受講者数や講義の進行状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解下さい。 新聞をはじめとする情報に触れ、時事問題などの理解に務めること。 *なお、当該科目は実務系科目である。